

## 【応募申請書】令和6年度 沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金

ふりがな		ふりがな	
氏名		工房名	
住所		年齢	
TEL		メールアドレス	
生産している 主な製品		工房の人数	
SNSの利用	使っているSNSがあれば○をしてください facebook Instagram twitter LINE	決算書の作成	している ・ していない
PC、ネット 環境について	工房やご自宅にパソコン/タブレットはありますか？ はい ・ いいえ 工房やご自宅にインターネット環境はありますか？ はい ・ いいえ オンライン(zoom等)研修に参加可能ですか？ はい ・ いいえ		

## 1. 主な経歴を記入してください

年	主な経歴(●●工房で修行、独立、展示会入賞歴等)

## 2. 今年の売上見込と、過去3年間の売上推移、売上の分類

年	売上高/万円	売上の分類(例: 自社店舗●●万円、インターネット通販●●万円、卸販売●●万円 等)
2024年(見込)		
2023年		
2022年		
2021年		

## 3. 工房運営の現状について: 以下の質問に回答してください。

## ①商品ブランド等の展開を行っていますか？

→回答: はい( )

→ 展開しているブランド名を記入してください(複数ある場合は、それぞれのブランド名を記入)

( )

→ ブランドコンセプトを記入してください(複数ある場合は、ブランドごとに記入)

( )

→ 新しいブランドは、どのようなタイミングやきっかけで立ち上げていますか？

( )

いいえ( )

→ 必要だと感じているが行えていない ・ 必要でない ・ 考えたことがなかった  
(その理由: )

## ②工房としての主なターゲット(取引先やエンドユーザーのイメージ)を記入してください。

→回答:

③現在の商品の受注と生産の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

→回答: 受注と生産数のバランスがとれている( ) 受注の量に対して生産量が追いついていない( )  
受注の量に対して生産量に余裕がある( ) 生産量を増やすには設備投資が必要( )  
生産量を増やすには人を増やす必要がある( ) 生産を増やすには技術の向上が必要( )  
生産を増やすには業務効率化が必要( ) その他(記入してください→ )

④小売店や問屋などへの卸販売は行っていますか? 「はい」か「いいえ」に○を入れてください。

→回答: はい( ) → 現状に満足している・していない  
(その理由: )

いいえ( ) → 必要だと感じているが行えていない・必要でない・考えたことがなかった  
(その理由: )

⑤「④」で、「はい」と回答した方。どのような形で新たな取引が始まる事が多いですか? また、声が掛かる場合は、相手はどのように工房の存在を知る事が多いですか? (回答例: 営業をかける、先方から声がかかる、HPからの問合せ、SNSで知る事が多い等)

→回答:

⑥工房の実店舗、またはネットショップはありますか? いずれかに○を入れてください。

→回答: 実店舗がある( ) ネットショップがある( ) 実店舗・ネットショップの両方を持っている( )

⑦「⑥」で、実店舗、ネットショップを運営していると回答した方。ショップの運営は何名体制で行っていますか?

→回答:

⑧SNSのアカウントを持っている方。facebook、Instagram、twitter、LINEなど、それぞれ工房情報の発信頻度を記入してください。

→回答:

⑨SNSのアカウントを持っている方。Facebook、Instagramのフォロワー数を記入してください。

→回答:

⑩過去に新聞や雑誌、WEB等のメディアで取材を受けた事がありますか? 雑誌や新聞等のメディア名を記入してください。

→回答:

⑪よく情報交換等をする同業者(工房)はいますか?

→回答: はい( )  
→ 現状に満足している・していない  
(その理由: )

いいえ( )  
→ 必要だと感じているが行えていない・必要でない・考えたことがなかった  
(その理由: )

⑫仕事の相談や依頼をしたことがある専門家はいますか? あてはまるものに○をつけてください。

→回答: デザイナー( ) カメラマン( ) ライター( ) WEB制作者( ) 税理士( )  
社会保険労務士( ) 商工会の相談員や専門家( )

⑬所属している業界団体等があれば記入してください (回答例: ●●産地組合、●●商工会 等)

→回答:

⑭工房全体の売上と利益はどのように把握していますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

→回答：把握できていない( ) 自ら帳簿を作成して把握してはいるが数字が正しいか不安がある( )  
自ら帳簿を作成して把握している( ) 税理士等の専門家に作成してもらい把握している( )

⑮原価計算は行っていますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

→回答：行っていない( ) 自己流で行っている( ) 正確にできている( )  
必要性を感じていない( ) やり方が分からない( )

⑯現在、工房として借入は行っていますか？ どのから いくら借入していますか？

→回答：借入はしていない( ) 借入している( ) 借入先／ 借入額／ 万円

⑰現在の売上の流通経路と、その売上構成比を記入してください(回答例：工房店舗30%、ネット通販20%、イベント出店10%、卸販売40%=合計100% 等)

→回答：

⑱「⑰」の回答について、今後流通経路別の売上をどのような比率にしていきたいですか？その理由も記入してください。(回答例：工房店舗50%、ネット通販20%、卸販売30%=合計100% 理由：●●●・・・)

→回答：

4. あなたの工房運営やモノづくりに対する考え、思いを記入してください。

5. 現在の工房の課題をなるべく詳細に記入してください。

6. 現在考えている工房の今後の方向性や計画等を、売上、利益、商品、販路、ブランドなどの視点を盛り込んで記入してください。

7. 今回、事業に応募した動機、どんな事を学びたいのかを記入してください。

8. 大まかな月間の生産量をご記入ください。\* 例: 反物●反、器●個、バッグ●個、等

9. 現状の定番商品、今後展開を検討している商品画像を複数枚貼り付けてください。

## 誓約書

年 月 日

沖縄県知事 殿

商号又は名称

住 所

事業所名

代表者名

印

当事業所は、沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金を申請するに当たって、また補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

また、警察に対して照会することにも同意します。

### 1 契約から排除されるべき者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

## 【事業計画書】令和6年度沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金

事業所名：

## (1) 沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金

実施する事業内容 (実施内容に☑)	<input type="checkbox"/> ①工房運営課題解決・改善 <input type="checkbox"/> ②商品・サービス開発・改善
実施の背景と課題 (課題は箇条書き)	(背景)  (課題)
実施内容 (箇条書き)	(工房運営課題解決・改善) ・ ・ (商品・サービス開発・改善) ・ ・
3年後に期待する 売上への効果(目標)	※3年後に期待する売上への効果(目標)を記載してください。

○商品・サービス開発・改善の内容

開発する商品・サービス名：		商品・サービスのイメージ（写真等）
開発期間：		
商品・サービス名：	既存の類似商品等があればその売上実績（年間当たり）	商品・サービスの目標（個数・売上額等）
	円	〇〇〇個・〇〇〇円

○実施スケジュール

	実施内容 1	実施内容 2	実施内容 3	実施内容 4	実施内容 5
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					



## 【積算書】令和6年度沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金

事業者名: \_\_\_\_\_

単位=円  
(消費税抜額)

	事業費 (A)	補助対象外経費 (B)	補助対象経費 (C) =(A)-(B)	補助率 (D) 75%	補助額 (E) =(C)×(D)	交付申請額 (F) ((E)と(F)どちらか 低い額)
<b>補助対象経費</b>						
(1) 原材料費 原材料及び副資材の購入に 要する経費			0			
(2) 外注加工費 原材料の再加工及び設計等 を外注するために要する経費			0			
(3) 技術指導受入費 試作品やサービス開発の技術指導に 関する経費			0			
(4) デザイン開発費 試作品開発にかかるデザイン経費			0			
(5) 市場調査費 試作品開発や市場開拓における調査 に関する経費			0			
(6) 広報宣伝費 試作品やサービス開発に係るパンフ レット、SNS広告費等に関する経費			0			
(7) 旅費 当事業を行うために必要な国内出張 等に係る経費			0			
(8) 専門家謝金 試作品開発や課題解決・改善等を事 業者が実行するために要する経費 (謝金)			0			
(9) 資料購入 関連書籍購入時に要する経費			0			
(10) その他知事が必 要とみとめる経費			0			
<b>合 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>75%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 補助対象経費は、通常の営業活動にかかる経費を除く。

交付申請限度額 (F)

積算内訳書(品目ごとに参考とした金額が確認できる見積書又は料金表)一覧表

事業者名( )

品目	金額(税抜)	金額(税込)	税額	見積先又は料金表先名	見積書又は料金表の番号 (事業者が手で探番した番号)	利用内容
積算内訳総額	0	0	0			
①原材料費(記入例)	7,000	7,700	700			
陶土(白土)	4,000	4,400	400	〇〇〇〇商店	①-1	シーサー試作品に利用
陶土(赤土3号)	3,000	3,300	300	〇〇〇陶器事業協同組合	①-2	シーサー試作品に利用
①原材料費	0	0	0			
②外注加工費		0	0			
③技術指導受入費	0	0	0			
④デザイン開発費	0	0	0			
⑤市場調査費	0	0	0			
⑥広報宣伝費	0	0	0			
⑦旅費	0	0	0			
⑧専門家謝金	0	0	0			
⑨資料購入	0	0	0			
⑩その他知事が必要と認める経費	0	0	0			

令和6年度 沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業補助金 積算書(記載例)

事業者名: 工房○○○○○○

単位=円  
(消費税抜額)

	事業費 (A)	補助対象外経費 (B)	補助対象経費 (C) =(A)-(B)	補助率 (D) 75%	補助額 (E) =(C)×(D)	交付申請額 (G) ((E)と(F)どちらか 低い額)
<b>補助対象経費</b>	<b>入力↓</b>		<b>自動計算↓</b>			
(1) 原材料費 原材料及び副資材の購入に 要する経費	50,000		50,000			
(2) 外注加工費 原材料の再加工及び設計等 を外注するために要する経費			0			
(3) 技術指導受入費 試作品やサービス開発の技術指導に 関する経費			0			
(4) デザイン開発費 試作品開発にかかるデザイン経費	50,000		50,000			
(5) 市場調査費 試作品開発や市場開拓における調査 に関する経費	105,000		105,000			
(6) 広報宣伝費 試作品やサービス開発に係るパンフ レット、SNS広告費等に関する経費	100,000		100,000			
(7) 旅費 当事業を行うために必要な国内出張 等に関する経費	40,000		40,000			
(8) 専門家謝金 試作品開発や課題解決・改善等を事 業者が実行するために要する経費 (謝金)	150,000		150,000			
(9) 資料購入 関連書籍購入時に要する経費	5,000		5,000			
(10) その他知事が必 要とみとめる経費			0			
<b>合計</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>75%</b>	<b>375,000</b>	<b>300,000</b>

※ 補助対象経費は、通常の営業活動にかかる経費を除く。

交付申請限度額 (F) 300,000